

妙義山の植物研究のあゆみ

Progress of the Studies of Flora in Mt.Myogi

里見哲夫*

Tetsuo Satomi

キーワード：妙義山，小野蘭山，ミヨウギシダ，ミヨウギカラマツ，ミヨウギシャジン，ブコウマメザクラ

Key words : Mt.Myogi, Ranzan Ono, *Polypodium*, *Thalictrum*, *Adenophora*, *Cerasus*

はじめに

日本三大奇勝の一つ妙義山，単独峰ではなく，金洞山，白雲山，金鶏山等を合わせ総称して妙義山という。妙義山の植物研究は群馬県下で最も早く，発表文献の多いことに注目して，先に「妙義山の植物研究のあゆみ」(里見 1981)を公表した。以後，発表文献や発表後約半世紀を経過したるを持って，ここに新たに稿を起すこととした。研究史にかかわる部分では，奥山 (1951)，斉藤 (1954)，若名 (1955)，群馬県 (1978, 1988)，安盛・斉藤 (1982)を参考にした。県下で固有名を持つ植物が最も多いのは尾瀬で，妙義山はそれに次ぐものである。

妙義山の植生

妙義山一帯は太平洋型植物分布域で，岩峰や岩陵地を除いては，クリーコナラ群集で二次林である。岩峰および岩陵地にはヒメコマツ，アカマツ，モミ，ツガ，カヤ，イヌガヤ，ネズミサシ，ハリモミなどがあり，同地を除く一帯は落葉広葉樹林でクリー，コナラなどを優先し，標高800m以上にはミズナラ，イヌブナ，カジカエデ等がある。岩陵地付



第1図 ミヨウギシダ (筆者撮影)

近にブナもある。特に，岩峰を取り巻く一帯はカエデ類が多く，主なものにオオモミジ，アサノハカエデ，ホソエカエデ，チドリノキ，ミツデカエデ，ウリカエデ，ヒトツバカエデ，カジカエデ，ハウチワカエデ，メグスリノキ，コミネカエデ，イロハモミジ，ウラゲエンコウカエデ，エンコウカエデ，オニイタヤ，イトマキイタヤ，ウリハダカエデ，オオイタヤメイゲツ，ヒナウチワカエデ等である。近年見つけたイイギリ，ブコウマメザクラは注目に値するものである。草本として注目すべきはミヨウギ名を持つミヨウギシダ (第1図)，ミヨウギイワザクラ

2017年1月27日受付，2017年2月10日受理。

*連絡先 群馬県甘楽郡下仁田町下小坂48

(ミョウギゴザクラ), ミョウギカラマツ, ミョウギモミジカラマツ, ミョウギトリカブト, ミョウギシャジン等や, ヤマクラマゴケ, イワウサギシダ, ミヤマウラジロ, ヒメウラジロ, コガネシダ, キンモウワラビ, ツルビランジ, オオビランジ, ヤハズハハコ, クリヤマハハコ, コウシュウヒゴタイ, キレハコウシュウヒゴタイ, オオイワインチン, シラヒゲソウ, ニッコウキスゲ, ムギラン, ウチョウラン等がある. 林下にはミミガタテンナンショウ, キツネノカミソリが多い.

植物研究への契機

古くは1805(文化2)年に小野蘭山が薬草の採集に訪れ「上州妙義山竝武州三峯山採薬記」を残している. 1886(明治19)年に「帝国大学理科大学植物標品目録」が発表され, 本目録中に妙義山及び周辺と赤城山等の標本がある. これ等が群馬県における中央の学会に残る最も古い標本とされている. その原因を追求してみると, 第2図に見られるように信

越線が1885(明治18)年10月15日に横川まで開通し, 植物研究と鉄道の開通とのつながりが一致することが明確となった. 以後, 新植物の発見と発表がなされていくが, 以下の通りである.

妙義山植物研究のあゆみ

妙義山の植物研究は信越線の開通と一致することは明確で, 以下の通りである.

1886(明治19)年

「東京大学理科大学植物標品目録」を発表.

1887(明治20)年

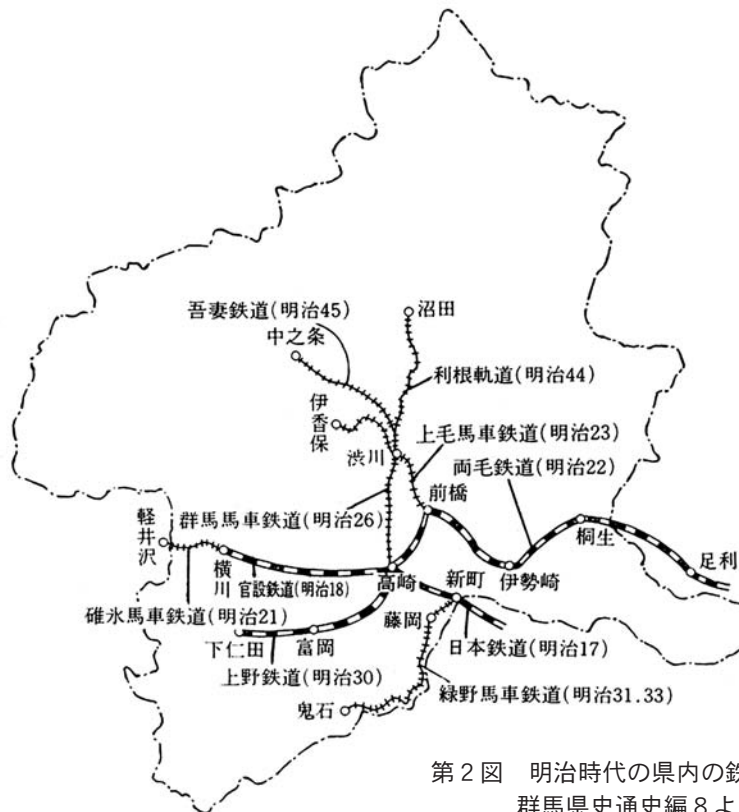
染谷徳五郎, 9月2日, 妙義山・中之岳で種不明のシダを発見, 植物学雑誌第1巻第11号に「ポリポヂューウムの一種」と題し, 図版入りで発表.

1891(明治24)年

矢田部良吉, 植物学雑誌第5巻第54号に新種「ミョウギシダ」と題して発表.

1914(大正3)年

児玉親輔, 新撰植物図編第2編1集に「オオバノ



第2図 明治時代の県内の鉄道・馬車鉄道
群馬県史通史編8より引用

キンモウワラビ」命名。

1915（大正4）年

武田久吉，エジンバラ大学学会で「ツルビランジ」を発表。

岩沢正作，「妙義山」と題し妙義山の植物を発表。

1933（昭和8）年

中井猛之進，植物学雑誌第47巻第179で「ジョウシュウコガネシダ」を命名，発表。

1934（昭和9）年

朝比奈泰彦，植物研究雑誌第9巻第1号に，「地衣類雑記（其一）・ミョウギウロコゴケ」を発表。

1935（昭和10）年

久内清孝が1929（昭和4）年に採集した一種に，中井猛之進が「ミョウギカラマツ」と命名。前川文夫，植物研究雑誌第10巻第1号に「新種妙義唐松」と題し発表。

原 寛，1929（昭和4）年8月22日，白雲山で採集した植物を，植物研究雑誌第10巻第12号に「ミョウギシャジン」と命名し，ヒメシャジンの変種として発表。

1937（昭和12）年

北村四郎，妙義山の葉のきれ込みが多いコウシュウヒゴタイを，変種「キレハコウシュウヒゴタイ」と命名，発表。

1941（昭和16）年～1949（昭和24）年にかけて，第二次世界大戦とその後しばらくの間研究記録ない。

1950（昭和25）年

古瀬 義，高岩でブコウマメザクラを採集，発表。

1951（昭和26）年

奥山春季，群馬生物創刊号に「妙義嶺から記載された植物」を発表。

1952（昭和27）年

里見哲夫，かぶら54号に「妙義山の植物研究のあゆみ」を発表。

1953（昭和28）年

浦野高美，群馬生物2号に「妙義名を冠した植物について」を発表。

1954（昭和29）年

斉藤 勲，群馬生物3号に「妙義山の植物」を発表。

1955（昭和30）年

水島うらら，植物研究雑誌第30巻第10号に「ハリバシゴケ妙義山に産す」を発表。

若名東一，「上州羊菌植物目録」を刊行。

飯泉 優，野草21巻第9号に「妙義山採集記」を発表。

里見哲夫，植物採集ニュースに「裏妙義の植物」を，野草に「妙義山に5種の植物」を発表。

1957（昭和32）年

里見哲夫が採集したポントクタデに，水島正美が品種「オオバナポントクタデ」と命名，植物研究雑誌第32巻第3号に発表。

里見哲夫，採集と飼育に「珍種ミョウギシダ」を発表。

松沢篤郎，植物と自然に「妙義山の植物観察」を発表。

1959（昭和34）年

里見哲夫，高岩山麓で「シナノアキギリ」を採集，発表。

1960（昭和35）年

里見哲夫，群馬生物9号に「下仁田付近の注目すべき植物」を発表。

1962（昭和37）年

里見哲夫，みやま文庫11巻に「妙義山の植物」を発表。

1964（昭和39）年

里見哲夫，かぶら6号に「裏妙義山植物採集会」を発表。

1967（昭和42）年

北村四郎が「オオイワインチン」をActa Phytotax Geobot 第22巻 no. 4～6に発表。

1968（昭和43）年

里見哲夫，白花のシモツケソウを採集，水島正美が「シロバナクサシモツケ」と命名，発表されずに死亡した。

1972（昭和47）年

里見哲夫，かぶら理科研究会刊行の「かぶらの自

然」に妙義山の植物を分筆.

里見哲夫, かぶら6号に「甘楽の谷の植物」を発表.

1974 (昭和49) 年

大井次三郎, 大橋広好, 植物研究雑誌第49巻第11号に「日本と台湾のシシグロ類」を発表. 中にツルピランジの記述がある.

奥山春季, 「日本植物ハンドブック」を刊行. 55~56pに妙義山の植物の記述がある.

1975 (昭和50) 年

武井靖郎, 群馬生物第24号に「妙義山の菌類目録予報」を発表.

1977 (昭和52) 年

須藤志成幸, みやま文庫に「群馬の植物」を発表.

里見哲夫, かぶら16号に「新知見の植物5種」を発表.

1978 (昭和53) 年

芹沢俊介, Journ Jap Bot. 第53巻第8号に, 本州産イワヒバ属の一品種を「ヤマクラマゴケ」と題して発表.

群馬県自然環境調査研究会報告書1~6pに里見哲夫他, 「妙義山の植物調査」を発表.

1979 (昭和54) 年

芹沢俊介, 植物研究雑誌第54巻第6号に「日本のシケシダ補記」と題し, フモトシケシダ (妙義山) を発表.

1980 (昭和55) 年

里見哲夫, あさお社刊行の「妙義山」に妙義山の植物を記述.

1981 (昭和56) 年

里見哲夫, 群馬生物30号に「妙義山の植物研究のあゆみ」を発表.

「ふるさとの道・自然探勝路」群馬県刊行に, 妙義山の植物記述.

2000 (平成12) 年

「群馬の自然」群馬県に妙義山の植物記述.

里見哲夫, かぶら39号に「妙義山のかえて」を発表.

2008 (平成20) 年

里見哲夫, かぶら47号に「群馬県内のブコウマメ

ザクラ, 妙義山にイイギリ自生する」を発表.

2009 (平成21) 年

里見哲夫, 「下仁田町の植物」が, 下仁田自然学校文庫④として刊行.

里見哲夫, かぶら48号に「下仁田町を原記載とする植物」を発表.

2011 (平成23) 年

里見哲夫, 群馬県野外生物学会誌に「ブコウマメザクラ」を発表.

その他, 里見哲夫が妙義山で発見, 採集の植物はヤワラシダ, イワウサギシダ, ミズコナラ, イイギリ, ゴシユユ, フクジュソウ, フイリオクタマスマミレ, サワリソウ, クマガイソウ, ムギラン, セッコク, ヒメタヌキラン等がある.

文 献

群馬県 (1978) ミョウギシダの群生地 良好な自然環境を有する地域. 学術調査報告書, 214-217.

群馬県 (1988) 群馬県植物誌. 群馬県植物誌編集委員会, 604p.

群馬県 (1992) 群馬県史通史編8近代現代2 (産業・経済). 群馬県, 967p.

奥山春季 (1951) 群馬県領から記載された植物. 群馬県生物教育研究会『群馬生物』, 2号, 2-3.

斉藤 勲 (1954) 妙義山の植物. 群馬県生物教育研究会『群馬生物』, 3号, 13-18.

里見哲夫 (1981) 妙義山の植物研究の歩み. 群馬県生物教育研究会『群馬生物』, 30号, 3-6.

若菜東一 (1955) 上州羊菌植物目録. (手記)

安盛 博・斉藤 晋 (1982) 妙義山とその附近の野生動物植物調査報告. 群馬県植物相動物相研究会, 92p.

付記 主要植物の学名

ミョウギシダ

Polypodium someyae Yatabe

ミョウギカラマツ

Thalictrum minus L. var. *chionophyllum* (Nakai ex F. Maek) Emura

ミョウギシャジン

Adenophora nikoensis Franch. et Sav. var. *petrophila* (H. Hara) H. Hara

ブコウマメザクラ

Cerasus incisa (Thunb.) Loisel. var. *bukosanensis* (Honda) H. Ohba